



写真左から「第9回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集」論文の部・大賞受賞者 阿部佳之さんと地元の協力農家・眞嶋雄二さん・協力メーカー・有限会社岡本製作所の岡本富夫社長

日本の農業に新しい風が吹く。特集 多様な農業のカタチ

農政 TOPICS 2009 —「耕作放棄地再生利用緊急対策」のご紹介

YANMAR Interview —「糞尿大国」から「肥料大国」へ
「第9回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集 論文の部・大賞受賞者 阿部佳之さん」

YANMAR Topics

30cm大の石もラクラク砕くストーンクラッシャー
「じゃがいもの生育、野良いも対策にも効果大」と
十勝農業試験場が立証!

先進農業事情

北海道上川郡 泉谷さん
新時代の酪農経営に挑む

佐賀県杵島郡 武富和也さん
平成 20 年度農林水産大臣賞を受賞!

新商品紹介

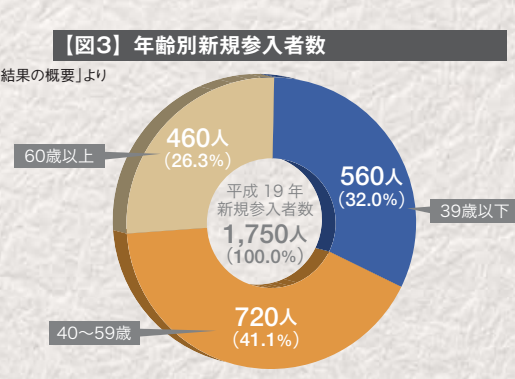
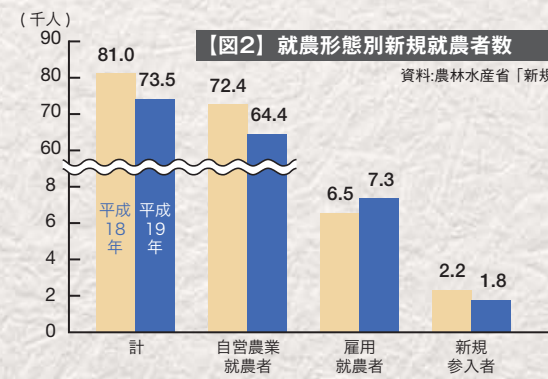
EG プロシリーズ、EG400シリーズ、GK シリーズ、
New ベタリスト VPR シリーズ、ACP100 シリーズ、
HZ1,U、SY1,T、GV191,X、MK85F/MK105F

安心・安全な農産物を、新鮮なまま次の日に
直接消費者に送り届ける。
長野・信州望月高原から届くインターネット販売の有機野菜
秋田・鹿角市の飼料用米栽培と養豚産業のコラボレーション
「日本のこめ豚」好評発売中!
養豚を中心とした飼料用米栽培の取り組み



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

ヤンマーは、FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。



特集 日本の農業に新しい風が吹く。 多様な農業のカタチ

新しい農業の芽が、 もっといきいきと 育つために



新しい就農者の広がりに期待を

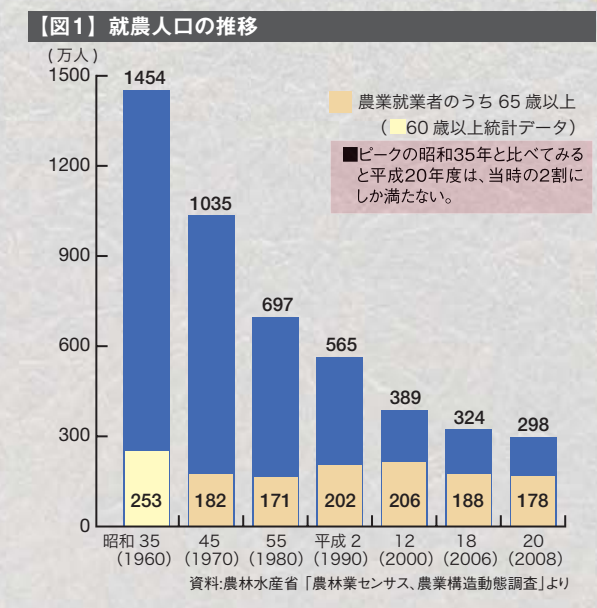
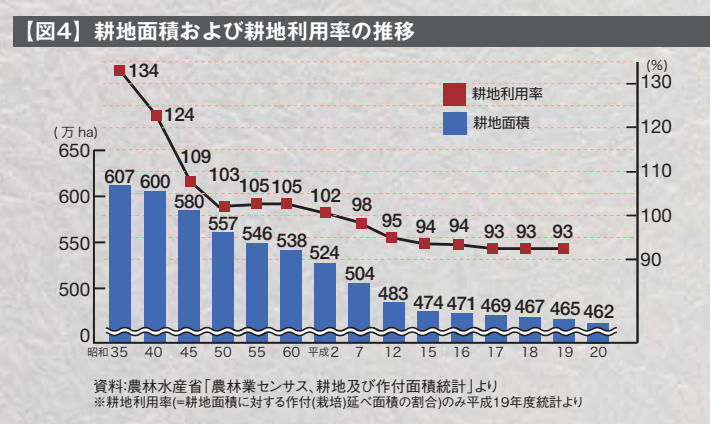


食の安全・安心に対する消費者ニーズの高まり、食料自給率の問題などを反映して、農業に対する関心が高まる中、若い世代にも卒業後、農業に従事したいという人や、転職先として農業を視野に置いている人たちがいます。実際に平成19年には7万3,460人が新しく就農しているほか、農業生産法人に就職し、経験を積んだ上で就農する人も増えています。就農形態別にみると、農家世帯員が農業を継いだ自営農業就農者は6万4,420人、土地や資金を独自に調達して異業種などから新たに農業経営を開始した新規参入者は1,750人です。(図2)

食の安全・安心に対する消費者ニーズの高まり、食料自給率の問題などを反映して、農業に対する関心が高まる中、若い世代にも卒業後、農業に従事したいという人や、転職先として農業を視野に置いている人たちがいます。実際に平成19年には7万3,460人が新しく就農しているほか、農業生産法人に就職し、経験を積んだ上で就農する人も増えています。就農形態別にみると、農家世帯員が農業を継いだ自営農業就農者は6万4,420人、土地や資金を独自に調達して異業種などから新たに農業経営を開始した新規参入者は1,750人です。(図2)

食の安全・安心に対する消費者ニーズの高まり、食料自給率の問題などを反映して、農業に対する関心が高まる中、若い世代にも卒業後、農業に従事したいという人や、転職先として農業を視野に置いている人たちがいます。実際に平成19年には7万3,460人が新しく就農しているほか、農業生産法人に就職し、経験を積んだ上で就農する人も増えています。就農形態別にみると、農家世帯員が農業を継いだ自営農業就農者は6万4,420人、土地や資金を独自に調達して異業種などから新たに農業経営を開始した新規参入者は1,750人です。(図2)

止まらない耕地面積の減少



いま、日本の農業生産力は、「農業従事者の減少」「高齢化」(図1)「農地面積の減少」「耕作放棄地の増大」などの要因で低下し続けています。半世紀前の日本は豊かな“農業国”として、農地という資源を最大限に活用してきました。その資源をもっともっと活用し、若き担い手たちを育てていく。その重要性に気づき、一步踏み出し始めた方々の新しい風を追ってみました。



安心・安全な農産物を、新鮮なまま
次の日に直接消費者に送り届ける。

長野・信州望月高原から届くインターネット販売の有機野菜

『健康は いのちある食材から』 というテーマのもと、 旬の野菜セットを販売。



長野県八ヶ岳連峰の北麓、信州望月高原は
冬になればマイナス15℃、春先には強風の吹き荒れる場所です。
そんな厳しい環境に東京都心から移り住み、
まったく未体験だった農業にチャレンジした若い夫婦がいます。
佐久市布施一の原、標高1,000m付近の荒地を開墾し、
日々、有機野菜をつくりつづけている「藤井農園」。
私たちの命の源である「食」を担う農業を、
このまま衰退させるわけにはいかないという
担い手としての熱い思いから生まれた
農業への挑戦と日々の活動を語っていただきました。



健康はいのちある食材 から 藤井農園

麹から準備し天然塩、大豆から味噌玉づくり

20年もの間放置されていた 4,500坪の荒地を開墾

そこで、この農園を紹介してもらい、アルバイトをしながら1年半、農業を実地研修。研修と並行して近辺での農地探しを進め、八ヶ岳連峰の北麓、信州望月高原の標高1,000m付近にある、約4,500坪の休耕地を借りました。

「20年間使われず、荒地地になっていたので、周囲の農家の方々に協力いただきながら開墾しました。現在約3,000坪の畑を耕作しながら、残りの畑の開墾を続けています」と藤井さんは平然と語りますが、当時の現地写真を見せていただく、その荒れ放題から開墾への相当な苦労が想像され、藤井さんの意志の強さに驚嘆させられます。

「1年半の研修だけでは、わからないことだらけです。インターネットで土のことを調べたりとかもしま

したが、やはり周囲の農家の方々のアドバイスが何よりありがたかったですね。ビニールハウス棟を無償でいただいたり、古い播種機を譲っていただいたりもしました。」

開墾にかかると半年後の2007年春、そんな周囲の協力もあつていよいよ農場をオープン。奥様の恵さんと二人だけで日々の野菜作りがスタートし、藤井さんのブログにもその内容が細かく綴られていきました。そして2ヶ月後の6月2日、「お知らせです。来週から、僕たちの作った野菜の販売を開始します」とブログにデビューメッセージがあつたのです。

商品の鮮度が第一だから 出荷作業が大変

藤井さんが前出の『ゆい自然農園』で研修したのは、もちろん安心・安全な食をめざす有機農業。こ

の栽培方法による新鮮な有機野菜を、生産者である自分自身の思いが明確に見える形で消費者に手渡していくために、収穫した野菜は消費者との直接販売だけに限るといふ藤井さんのこだわりがありました。

商品は、季節の旬の野菜を約10種類詰め合わせてお届けする野菜セット。もちろん、野菜はすべて無農薬・無化学肥料で栽培したものです。

「農作業よりも出荷作業の方が大変なことがわかりました。鮮度のことを考えると、1日もずらすわけにはいかないので、たくさんのご注文をいただくに嬉しいんですが大変(笑)」と苦笑される藤井さんのもとには、遠く北海道、九州から、さらには食材にこだわる近隣のレストランからもオーダーがあるとのこと、やはり新鮮さと安全性に対する消費者の意識の高さを感じます。

アドバイスをするよりも 自分で環境をつくる

藤井さんのもとと、東京で環境コンサルティングの職に就く、まさに大都会のビジネスマンの一人でした。しかし、環境に対するさまざまな取り組みを企業にアドバイスしていく中で、生活消費材の需給サイクルという現代社会の持続性について、しだいに疑問と不安を抱くようになってきたといいます。

「特に食料です。現在の日本の食料自給率の低さを見るにつけ、自分の子供や孫までが、食料に対して不安のない環境をつくるには、自分自身が農業を行うべきではないかと考えたのです」

それを奥様に相談すると、まったく何の反対もなく意見が一致。早速、農業への転職活動がスタートしました。

「農業に対してはまったく経験がありませんでしたし、農業をしている知り合いもいませんでした。そこでインターネットでいろいろ調べているときに、たまたま農業で独立されていた方のホームページがあり、その方が『ゆい自然農園』で研修されたことを知りました」



※『ゆい自然農園』
長野県の蓼科山北麓に位置する旧望月町長春原地区で、無農薬有機野菜を栽培する農園。農業が好きで将来農業で生活していくという、強い意志を持った人を研修生として迎え、農業指導している。

「一般のビジネスマンから農業へというのは、僕は有望な転職先だと思いますね。まだ3年目なので、自分自身の農業もまだまだですが、これから農業をしてみようという若い世代が後継者として独立できるよう、自分が独立の時に集めてきた情報やノウハウを、ぜひブログなどで提供していきたいと思っています。農業はとても楽しいですよ」と語る藤井さんご一家には、この4月に第2子が誕生。子供たちの安心な未来設計のために、ますます農業にも力が入っていきそうです。



藤井志郎氏
1977年1月生まれ
藤井農園代表

ソフトウェア開発会社、環境・CSRコンサルティング会社に勤務後、持続可能な循環型有機農業を志し、2005年10月より佐久市望月の有機農家「ゆい自然農園」に弟子入り。2007年4月、藤井農園として独立。人生の目標はサステナブル(持続可能)な社会の実現。

<http://www.sas.janis.or.jp/~fujii/farm/>

効率的な
農地利用の推進

担い手による
生産の推進

秋田・鹿角市の飼料用米栽培と養豚産業のコラボレーション

「日本のこめ豚」 好評発売中! 養豚を中心とした 飼料用米栽培の取り組み。

秋田県の北部、奥羽山脈の山間に細く南北に伸びる花輪盆地に、
鹿角市の田園地帯が広がっています。山間部で水はけの悪い地域。
さらに後継者不足が追い打ちをかけたことで、ここも耕作放棄地が増加しつつありました。
しかし、ある生協グループが食料自給率向上をテーマに
「飼料用米配合のエサを与えた豚肉開発」というプロジェクトをスタートしたことで、状況が一転。
その思わぬ耕作放棄地解消策を追ってみました。

転作作物として水田を
荒らさずに維持できる
飼料用米に着目

「日本のこめ豚高い評価。飼料用米8ヘクタールに作付け拡大」。昨年6月、ある農業新聞にこんな見出しの記事が登場しました。飼料用米の生産にあたっているのは、秋田県鹿角市の「農事組合法人二本柳ファーム」。

農業従事者の高齢化、後継者不足がこの地域でも進む中、2007年3月、地域農業の活性化計画の一環として同法人が設立されたのですが、基盤整備を終了し法人化したばかりだったため、転作作物として何を生産したらいいかという模索状態にありました。そこにJAかつのから舞い込んできたのが、飼料用米の生産依頼の話でした。「最初は転作作物として野菜に取り組んだこともあったのですが、需要さえあるなら野菜よりは手間もコストも抑えられて、水田を荒らさずに維持できる飼料用米の方が、やっぱりいいですね」と同法人の佐藤幸夫理事長。

その需要先というのが、同じ鹿角地域の小坂町で豚肉生産を行うポークランド。ポークランドはパルシステム（関東地方を中心にした生活協同組合連合会）の産直産地として、平成10年より豚肉を供給していました。

飼料用米栽培、 飼料加工、こめ豚肥育の 三位一体プロジェクト

鹿角地区は戦後、企業養豚が盛んになり、現在では首都圏への豚肉の主要供給地としても注目されています。なかでも鹿角郡小坂町郊外で広大な養豚場を展開している有限会社ポークランドは、常時飼育頭数約6万頭、年間出荷頭数では、今年度見込11万3,000頭という規模を誇る生産者。独自の衛生管理システムで、SPF豚（特定病原菌がない豚）を長年パルシステムに供給してきました。

「2006年にパルシステムから、飼料用米を使った豚を飼育して欲しいという依頼がありました。そこでまず、加工食品用輸入米（ミニマムアクセス米）を利用し、配合割合の研究や給与期間試験を独自に行い、出来上がった豚肉の食味検査も実施しました。そして国産飼料用米での展開について、地元のJAかつのさんに相談したのです」と（有）ポークランド常務取締役の佐藤達也さん。

飼料用米の総合窓口でもあるJAかつの関巧課長は「金額面では当然とらうもこしより高い飼料を

へと拡大しました。「このプロジェクトは、水田を有効利用し団地化を進めていけるという意義がありますが、資源循環型農業ができることもポイントですね。ポークランドで構築されてきた糞尿堆肥処理技術があったことで、飼料用米を食べた豚のふん尿を堆肥にしてふたたび栽培田に利用するという流れをつくれました」とJAかつの関課長も、飼料用米転作が生み出した環境への効用も強調されました。

ちょうど田植えも終わって水がたたえられた二本柳ファームの栽培田には、飼料用米ほ場の他に試験ほ場として「べこのみべこあおば、奥羽飼394号」が植え付けられていることを示す看板が立っていました。さらに新たな品種の拡大で転用田の活用を高めていくという、この地での飼料用米への取り組みは、二本柳ファーム、JAかつの、ポークランド三位一体の「こめ豚」生産システムに、ますます弾みを増していきそうです。



飼料用米配合の飼料で飼育される「こめ豚」



二本柳ファーム佐藤幸夫理事長

JAかつの関巧課長



ポークランド

秋田・鹿角市

写真:鹿角市提供

使うことになります。それに飼料用米への助成金もありませんでしたから、農家、JA、養豚業者それぞれにリスクを負うことになります。そこで生産者のリスク軽減のため、市と協議して産地づくり交付金の対象にもらってスタートを切ったのです」と初めての試みに対する苦肉の策を語られました。

自給率向上には 畜産飼料の国産化が不可欠と、 飼料用米に着目

早くから環境保全型・資源循環型農業への転換と国内自給率の向上に向けて、様々な取り組みを続け

てきたパルシステム。その「こめ豚」構想は、国内飼育の豚・鶏肉のうち、もともと消費量の多い豚肉が、飼料のほとんどを輸入トウモロコシに依存していることから、自給率向上には畜産飼料の国産化が不可欠として、「飼料用米」に着目したことがきっかけでした。

JAかつのから依頼を受けた二本柳ファームの佐藤理事長は「秋田県での飼料用米の作付けは初めてのことでした。しかし、飼料用米は水田の水はけが悪くても作付けが可能だし、通常の稲作と労力も変わらず農業機械もそのまま使えるので、特に大きな問題はありませんでしたね。ただ、この依頼が来たときは飼料用の種子が確保出来なかったもので、主食米品種のめんこいなを作付けして出荷しました」ということ

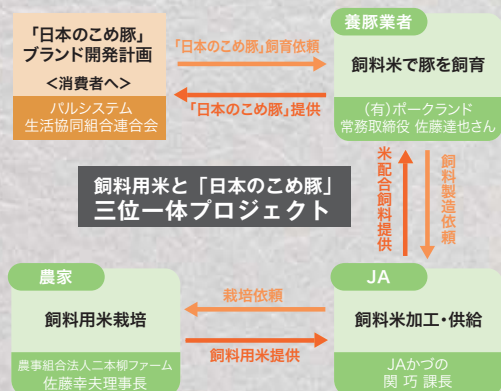
で、それがJAグループの飼料工場で専用配合飼料として加工され、初

年度はポークランドの2,800頭に与えられました。

その「こめ豚」の味はどうだったのでしょうか。パルシステムのホームページには「ポークランドで健康に育ったSPF豚は、比較的さっぱりした味わいですが、食味テストを行い、飼料米混合比率10%のエサを約70日間（平均）与えたことで、うまみ成分が増したという検査結果も出ています」と、期待していた新商品に対する満足のいく成果が報告されていました。

飼料用米を食べた豚のふん尿を堆肥し、 ほ場に還元する資源循環型農業

昨年、二本柳ファームは飼料用米に適した多収量米のふくひびきを作付け。その結果が良好だったことから、今年は野菜を作っていた1ヘクタールの畑も飼料用米の栽培田



耕作放棄地 (2005年農林業センサス)

↑38.6万ha

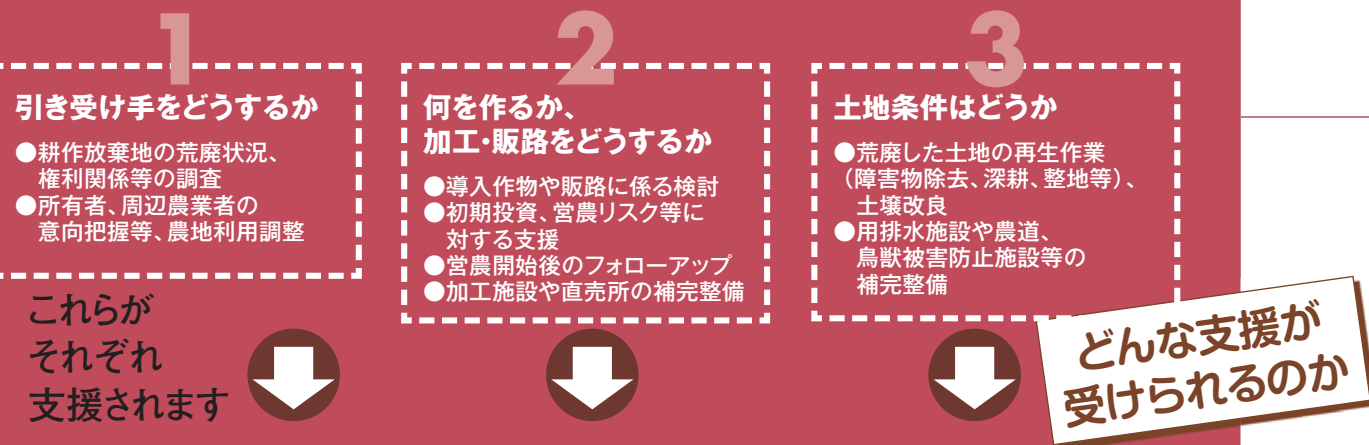
東京都の約1.8倍の面積

「耕作放棄地 再生利用緊急対策」のご紹介

Topics! Agricultural administration

日本の農地面積は、昭和35年のピーク時から約8割弱の水準にまで減少したと言われています(昭和35年:607万ha⇒462万ha)。逆に耕作放棄地は、東京都の約1.8倍の面積にあたる38.6万ha(2005年農林業センサス)にまで増加しており、農作物を生産する大切な資源として再生し、有効活用していくことが望まれています。今回は本年度からはじまった耕作放棄地解消に向けた政策をご紹介します。

耕作放棄地再生に向けた取組みのポイント



「耕作放棄地再生利用緊急対策」の内容

【耕作放棄地再生利用推進交付金】

- ①都道府県協議会推進事業(定額) 地域協議会に対する指導・助言等
- ②地域協議会推進事業(定額) 荒廃状況等の詳細調査、農地利用調整、導入作物・販路の検討、営農開始後のフォローアップ等

【耕作放棄地再生利用交付金①】

施設等補完整備(補助率1/2等) 用排水施設、鳥獣被害防止施設、直売所・加工施設、市民農園等の整備

【耕作放棄地再生利用交付金②】

再生利用活動(貸借等)により耕作放棄地を再生・利用する取組

- ・再生作業(障害物除去、深耕、整地等)に対する支援※1 荒廃の程度に応じ、3万円/10a又は5万円/10a(1年間)
- ・土壌改良に対する支援※2 2.5万円/10a(最大2年間)
- ・営農定着に対する支援※2 (水田等有効活用促進交付金の対象作物を除く。) 2.5万円/10a(1年間)

- ※1 貸借権・使用貸借権の設定・移転、所有権の移転、農作業受委託等によって耕作する者を確保して、又はその見通しをもって行う農地の再生作業(一定以上の労力と費用を必要とするもの)を支援します。
- ※2 別途、自助努力等によって再生作業が行われた場合は、所有者が営農を再開する場合も含めて、土壌改良と営農定着を支援します。

さらに次のような関連対策があります

【耕作放棄地の発生防止】

農業生産活動の維持を通じた耕作放棄地の発生防止に資する中山間地域等直接支払交付金の交付、農地・農業用水等の地域資源を地域ぐるみで保全する取組への支援

【中山間地域等直接支払交付金】
【農地・水・環境保全向上対策のうち共同活動支援交付金】

【食料供給力向上対策】

新規転作田、調整水田、耕作放棄地等における大豆、麦、飼料作物、米粉・飼料用米の需要に応じた作付拡大を支援

【水田等有効活用促進交付金(新規)】

【農地の確保・有効利用の促進】

農地の有効利用に向けた取組に当たり障害となっている不在村地主等の実態の把握、担い手等への利用集積その他農地利用調整の取組を支援

【担い手アクションサポート事業(拡充)】
【農地確保・利用支援事業(新規)】

【飼料自給率向上対策】

中山間地域において、耕作放棄地等の活用を新たに要件とし、その補助率を別途設定

【草地畜産基盤整備事業(拡充)】

【農業生産基盤の整備による耕作放棄地解消の支援】

【耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業(拡充)】
【農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(拡充)】
【農地環境整備事業(拡充)】

対策を活用するためには

- 耕作放棄地の発生要因や荒廃状況、権利関係、周辺農業者その他引き受け手となり得る者の態様は、地域によってさまざまです。
- 地域の実情に精通した多様な主体の参画・協働とその発意・創意工夫によるきめ細かな取組が重要です。

再生取組のための体制づくりが必要です

対策の実施主体として行政、関係団体等による耕作放棄地対策協議会を設立

地域農業の活性化と食料自給率向上のために、

皆さんの地域でも耕作放棄地に目を向け、その再生利用に取り組んでみられてはいかがでしょうか。

耕作放棄地が増加すると

農作物の生産力低下につながるばかりか、病虫害・鳥獣被害の発生・拡大や廃棄物の不法投棄、景観の悪化等、地域の生活環境の悪化も招くことになります。



耕作放棄地の解消・再生利用を促進するには

耕作放棄地を解消し、再生利用を促進するためには、農業者だけではなく、行政や農業関係団体、地域住民などが地域ぐるみで取組むことが有効かつ重要なポイントです。「耕作放棄地再生利用緊急対策」を利用して、地域全体で耕作放棄地の再生・利用に取り組んでいきましょう。



耕作放棄地解消に向けた取組み事例(農水省ホームページより抜粋)

■平成10年から「遊休農地一斉耕起の日」を実施(宮城県南三陸町)
『特産物を育てます。花のある景観を作ります。農地を未来に残します。』の3つのスローガンを掲げ、平成15年度までに延べ17haを耕起。畑には展示圃場を設置し、フキ等の奨励作物やコスモス・ひまわり等景観作物の作付けを行った。

■定年退職者の参入による耕作放棄地の解消(茨城県常陸太田市)
国や県の助成制度を活用して汎用コンバインや石臼製粉機などを整備。遊休茶園等約4haを借り受けて、そばを栽培、収穫から製粉までの作業を実施した。

■耕作放棄田を活用した和牛放牧(滋賀県木之本町)
山際2haの耕作放棄地で和牛4頭や山羊の放牧、平成16年度からは牛2頭による転牧を行う。放牧開始からイノシシ、サルの出没や被害がなくなった。耕作放棄地の草を牛等が採食したため、美しい景観を生み、集落で集団転作が実現した。

詳しくは農水省のホームページをご覧ください
http://www.maff.go.jp/j/nousin/tikei/houkiti/h_jirei/index.html



牧場に通って細かくデータを収集

——論文で書いたテーマを社会に出てからも継続して自分の仕事として取り組もうとされたのですね。難関の国家公務員「種試験」を見事パスし農水省に入省し、研究員となりました。

——大学院卒業後、進路に農林水産省を選ばれたのは？
阿部 専門を活かした仕事に就き、できればヤンマーの論文で発表した糞尿の堆肥化をもっと研究したいと思いました。

——出身は千葉県で、お父様も農林水産省に勤めておられたとか。それで農業に興味を持ち農業分野に進学されたのですか？

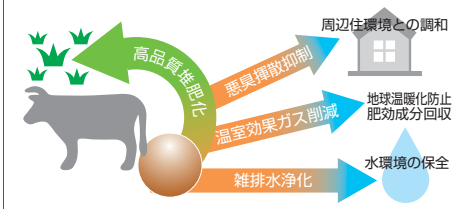
阿部 父よりも祖父母の影響が大きいですね。長野県佐久地方で農業を営んでいて、僕も小さい頃よく遊びに行き、川で魚を獲ったり野山を駆け回っていました。地元の人達もでき、田舎の暮らしや農業は楽しいなあというも思っていました。

堆肥化のコストや流通面などの課題も挙げ、低コストで堆肥化する機械や設備の必要性も説きました。

現在の阿部さん

——畜産草地研究所で現在どんな研究を行っているのですか？

阿部 那須高原の畜産草地研究所で「吸引通気式堆肥化処理技術」の開発に平成12年から取り組んでいます。ひとこと言くと、プロアなどで堆肥発酵槽の底部を吸引して堆肥の表面から空気を供給し、発酵を促進させ堆肥を作る技術ですが、同時に多様な資源も吸引・回収して再利用するというところがミソ。つまり、悪臭源のアンモニアを回収することで悪臭発生を抑えるとともに液肥を作ったり、高温の排気も活用し温水を作って熱源にしたり、炭酸ガスで作物の生育を良くしようというもの。いわゆる環境負荷低減型の堆肥化システムです（図1。詳しくは草地研究所ホームページ参照）。地元那須塩原の酪農家眞嶋雄二さんの牛舎にこ



■図1 環境負荷低減型堆肥化システム 出典：畜産草地研究所



「昼寝を問わず牧場に入り、現場を理解しながら技術を開発する。そんな彼は酪農家にとって有難い研究者ですね」と協力農家の眞嶋雄二さん。

組でもKの番号



協力メーカーの1つ・岡本製作所の岡本富夫社長と機械の稼働状態をチェック。

の装置を実証展示的に設置させていただき、データを取って改良を重ね、全自動のシステムとして完成させました。これを導入する利点としては①発酵促進②悪臭低減（従来方式の10〜100分の1）③肥料回収（高純度のリン酸アンモニウムや硫酸アンモニウム液肥）④排熱利用（生糞1トンから灯油24リットル分の熱量が得られる。ハウスの熱源の他、眞嶋牧場では厳寒期に飲み水を温めることで牛の食欲増進や乳量増加の効果を確認）⑤炭酸ガス利用（ハウス内に常時十分な濃度の炭酸ガスが供給され、光合成が促進され作物の品質向上や収量増大が可能）——が実証できました。すでに市販もされ、現在普及に努めている段階です。NHKの番組でも



眞嶋さんの牧場に設置された阿部さんが開発した堆肥化プラント

阿部 ええ。特に自然が豊かな那須高原に10年以上住み、酪農家さんの牧場に通い、一緒に苦労しながら取り組んできましたし

——学生時代に書かれた懸賞論文の副題は「糞尿大国日本」から「肥料大国日本」へでした。この論文応募をきっかけに若い時の農業への熱い思いを継続して持ち続け、まさにライフワークにされているわけですね。研究者の立場から日本や世界の農業の発展に貢献しているという実感は大きいでしょうか？



実証展示場で堆肥の熟度を眞嶋さんと確認

——酪農・畜産農家の悩みを解消し、地球環境保全にも役立つすばらしい技術開発ですね。
阿部 そうですね。特許を申請中です。安定的・継続的な稼働やコスト面で苦労しましたが、完成できたのは関係者の方々や研究員仲間の協力のおかげです。このシステムは世界でも類が無く、日本発の畜産技術として世界に発信していきたいですね。



地元の協力農家・眞嶋氏（中央）と協力メーカー・岡本製作所の岡本氏（右）と

取材を終えて

理論派も多い研究者の中で、阿部さんは毎日つなぎを着て温度計を持ち現場を走り回っている行動派と言えるであろう。農業者とも親交が深く、現場の声や要望も細かくキャッチ。現場主義で熱い思いに燃える阿部さん。今後の活躍を大いに期待したい。



眞嶋さんの牧草地で、阿部さん・眞嶋さん・岡本さん

た。厳しい時代ですが農家の皆さんには頑張ってもらいたい。そのために技術開発でバックアップし、役立つ技術を広く普及させたいですね。

YANMAR INTERVIEW

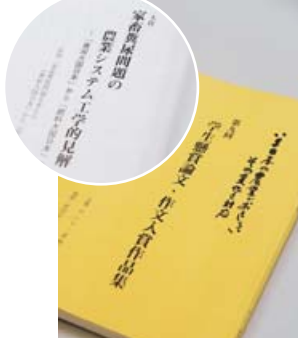
「糞尿大国」から「肥料大国」へ ヤンマー学生懸賞論文のテーマを実現！

できあがった良質の堆肥



畜産草地研究所栽培工学系チームの仲間と

大賞を射止めた応募論文



阿部 自分が課題にしているものを再整理しようという動機から応募したのですが、まさか大賞を射止めたなんて思いもしませんでした。名前を呼ばれた時は心臓がバクバクしましたね。大学院の担任教授にも電話で報告しましたが冗談だと思われ、帰って表彰状を見せるまで信じてもらえませんでした（笑）。

——論文はどんな内容でしたか？
阿部 畜産での糞尿処理問題を扱ったものです。畜産農家では家畜の糞尿の処理に困り、社会でも悪臭や川への流出など環境汚染が心配されていました。今後食生活の変化に対応して畜産物の生産を増やすと糞尿もさらに増加するし、海外から濃厚飼料がもつと輸入されると



エサの食い付きも良好

窒素過剰になってしまうのではないかな。それならその窒素を堆肥に変えて、国内だけでなく海外へも輸出すれば、国際的に窒素の循環やリサイクルになるのでは、と提案しました。これは大学院の研究室で取り組んでいたテーマに関連するもので、そこでの実験や調査の結果をもとに、糞尿の堆肥化の利点を紹介し、

世界も注目の堆肥化システムを開発！

日本農業と農村の未来について若者たちに夢と若さ溢れる提言をいただく「ヤンマー学生懸賞論文・作文募集」。これに上位入賞された方の現在の活躍を紹介し、農業への熱い思いや将来の夢を語っていただくこのシリーズ。今回は10年前の第9回・論文の部で大賞に輝いた北海道大学大学院 農学研究科 修士課程2年（受賞当時）・阿部佳之さんです。論文のタイトルは「家畜糞尿問題の農業システム工学的見解～「糞尿大国日本」から「肥料大国日本」へ～」。現在、農林水産省傘下の研究組織・独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）の畜産草地研究所で主任研究員として活躍されています。



第9回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集 論文の部・大賞受賞者 阿部佳之さん（36歳）
独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構） 畜産草地研究所 資源化システム研究チーム 主任研究員（農学博士）

農研機構 堀江武理事長 >>>

私も9年前から審査委員を務めているヤンマー学生懸賞論文募集は若者の目を農業に向けさせる意義ある事業です。それに応募したのがきっかけで我が研究所に入ったと聞き、嬉しいですね。20代の若さで独自の考え方が展開できたのは、信念を持っているから。また、苦労して論文を書いた経験がその後の人間形成にも役立ち、1,700人の研究員の中でも特に優秀な研究員に育ったのでしよう。

同・本田善文上席研究員 >>>

今年3月まで5年間、那須で一しょに研究していました。彼は常に直球勝負で我慢強く、こうと決めたことは石にかじりついてでもやり遂げる人。何をするのもパーフェクトで技術のブラッシュアップも最短時間。各種の賞はもちろん、博士論文も業務を遂行しながら書き上げたのには感心しましたね。



左：本田善文上席研究員 右：堀江武理事長



北海道立十勝農業試験場

試験結果と総合考察

(1) 変形、緑化、打撲が減り、
いもの品質が向上

同機で破碎処理した試験区（以下、処理区）の方が茎が長く茎数も多かったものの、総じて生育・収量に差は見られなかった。品質面では変形と緑化、打撲の発生割合は処理区の方が少なかった。緑化いものが少ないのは石がないため、きれいに培土ができたから。打撲や損



試験に使われたSTC125（作業幅1.25m。適応トラクターは90～110ps）。現地での導入事例も多い。

YANMAR Topics

30cm大の石もラクラク砕くストーンクラッシャー 「じゃがいもの生育、野良いも対策にも効果大」と 十勝農業試験場が立証！

「ほ場内に大きな石が多くて困っている」という農家の方々から注目を集め、すでに北海道内の十勝や網走、後志管内を中心に導入され好評を得ているストーンクラッシャー STC シリーズ。石の破碎性能の高さはよく知られているが、作物に対する効果の面でも「じゃがいもの生育や収量に影響がなく、打撲や損傷も少ない」という試験結果が北海道立十勝農業試験場から発表された。公的機関からお墨付きが出たことで、普及に弾みがつくだろう。試験を担当された同試験場技術体系チーム・白旗雅樹研究主査に試験結果の概要を解説していただいた。



白旗雅樹研究主査

ストーンクラッシャーとは

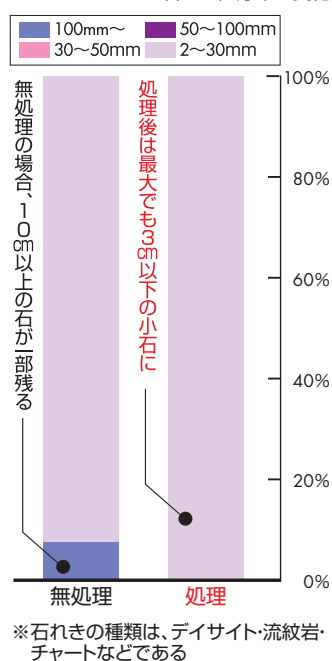
同機は、ダイヤモンドの次に堅いタングステンカーバイド鋼を使った破碎歯で地表や土中の石を小さく砕いて良好なほ場に整える機械だ。処理後は最大でも3cm以下の小石に砕いている。土と一緒に砕くことで角が取れやすくなり、作物にもやさしい。一般的に行われている人力やストーンピッカーで石を取り除く方法よりも能率的に作業ができ、石をほ場外へ搬出する手間や土の目減り分を客土する必要もない。そのうえ一度作土層を完全に処理しておく、外から新たな石が混入されなければほぼ永続的に良好な土壌状態を維持できる。

また、小石があることでほ場の排水性や浸透性、保温効果も失われない。



ストーンクラッシャーの破碎部

■ストーンクラッシャー処理による
石れき径分布の変化



試験実施の背景と試験内容

石に対する同機の破碎性能や作業能率はすでに確認済みだが、作物に対する影響や効果は公的な調査データがなく、「生育や収量に影響はないか」という問い合わせがばれいしよ生産農家やJAなどから寄せられていた。何しろばれいしよは石の影響を受けやすく、食用はもちろん近年は加工用でも収穫時の打撲や損傷が問題になっているのだ。

そこでヤンマーでは、ばれいしよへの影響の有無や効果を公的機関で調査し検討するため、一昨年北海道立十勝農業試験場に実証試験を委託した。

北海道では平成6年に溶結凝灰岩の多い美瑛町で同様の試験を行いその効果が確認されているが、美瑛町以外の地域での適用性や収穫時の打撲に対する効果については確認が必要であった。

また、収穫時にポテトハーベス



野良いも破碎作業



破碎後の石れき

タからこぼれ落ちたり掘り残した小粒いも（以下、塊茎（かいけい））が温暖化の影響もあって凍死せず翌年芽を出し、雑草化するだけでなく病害の源にもなることから、野良いも対策が求められている。

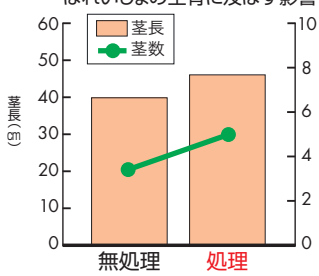
そこで今回の試験では「ばれいしよ栽培におけるストーンクラッシャーの活用技術」と題して、

(1) 「ばれいしよの生育に与える影響」だけでなく、(2) 「野良いも発生量に与える影響」についても検討することになり、平成19年から2年間、管内の農家のほ場で現地試験が行われた。

傷が少なかったのは、ポストハーベスタでの収穫時や選別時に石の混入がほとんどなく、傷をつけることがなかったため、と考えられる。

以上のことから、同機で石の破碎処理を行う方が変形いも・緑化いもの割合や打撲の発生率が低くなり、品質向上への効果が大きいことが明らかになった。

■石れき破碎処理が
ばれいしよの生育に及ぼす影響



■石れき破碎処理が
ばれいしよの収量に及ぼす影響

区	無処理区	処理区
規格内収量 (kg/10a)	4,093	3,940
規格外品 (kg/10a)		
変形	655	390
緑化	169	81
その他	527	373
でん粉価 (%)	15.8	15.6

注) 規格内収量：349～20gのいもの重量

(2) 野良いも発生を抑制し、生育良好・病害も防止

野良いもの発生率は約8割も減り、発生抑制効果が認められた。そもそも土壌凍結が塊茎を死滅させる効果が一番大きいのだが、同機で畑に残ったいも

を割り砕いておけば、凍結や腐敗が速く進み野良いもを死滅させやすくなる。

また、前処理としてハローをかけた場合に野良いもの発生が増えたが、これはハローによって表面付近の野良いもが破碎作用を受けない土層へ移動したためと推察される。このことから耕起などの前処理は行わない方が望ましいとわかった。



施工後の野良いも

導入の経済的效果

買取価格が向上し、雇用労賃や修理代が低減

少・品質の向上によって、買い入れ価格の改善が期待できる。また、野良いもの除去作業にかかる人件費が削減でき、作業機も石で壊れることが少なくなるため修理代も抑えられるなど、経済的效果も大きい。

利用上のポイント

- ① 作業速度は秒速0.2m程度でゆっくり走るのが望ましい（野良いも対策には0.4mまで可）。
- ② 作業の深さは、石対策には15～20cm（機種によっては20

調査にあたった白旗研究主査は好成績の試験結果に満足そうにこう語る。

「ばれいしよだけでなくテンサイやニンジンなど他の作物に対する効果も今後の検討課題です。畑作農家に限らず酪農家も稲作農家も石で苦勞されている人は多いですよ。石があるために地下水が上がらず干ばつになりやすい地域もあります。効果の持続性ではこのストーンクラッシャーしかありません。この機械によって石に起因したトラブルが減り、営農意欲も増すでしょうから、どんどん普及させたいですね。価格は高めですが導入による経済効果も大きいので、共同で購入するのも手。北海道農業開発公社でも購入し、データを取っているようですが、日も早く補助対象となり助成金などがつくようになつてほしいですね」

ストーンクラッシャーは石にまつわる苦勞を解消させ、高品質な作物づくりに役立つスグレもの。北海道のみならず全国で広く導入が進むよう期待している。



信頼し合う泉谷父子とJD6920

平成19年に導入したJD7530はコントラクターのオペレーターの間でも「使い勝手がいい」と取り合いになるそうだ。



昭和35年にJDトラクター(当時はランツ)を導入して以来、大ファンになった孝一さん。展示会で集めたミニチュアはこんなにたくさん。

**搾乳のプロに徹するため
育成牛の飼育を委託**

もうひとつ、新しい経営改善の考え方として特筆したいのが、9月から育成牛の飼育を全

牛も同様で、順番待ちで立っている時間が長いと(以前は最大2時間)膝を痛め、ストレスが多くなる。それを防ぐためにこのバーラーは1群120頭を1時間で搾れるように設計されている。

実際に作業時間は従来3人で3時間半かかっていたのが2時間で済む。移動距離が短縮された上、中腰より立ち仕事の方が楽で、膝の負担もなくなった。



片側14頭、両方で計28頭を一度に搾れる

が不要になり人件費が減らせ、病気のリスクも回避できます。安心してできる運営体制のもとで放

コストや労働力を軽減するためで、「牛舎が足りない、人手も不足」という同じ悩みを持つ仲間9軒で出資し農事組合法人を作った。子牛が生まれると3日目から7カ月までそこに預け、8カ月目からは出産できるようにするまで既存の町営牧場に預託する。「世の中はアウトソーシングの時代。酪農も、何でもやる時代ではありません。作業を専門化させて効率化を図ることが重要です。お金を生むのは搾乳だけ。僕らの仕事はそれがメイン。搾乳のプロに徹して集中的に取り組み、それ以外の仕事はその道のプロに委託するのです。育成牛も委託すれば、牛舎

面的に外部に委託すること。コストや労働力を軽減するためで、「牛舎が足りない、人手も不足」という同じ悩みを持つ仲間9軒で出資し農事組合法人を作った。子牛が生まれると3日目から7カ月までそこに預け、8カ月目からは出産できるようにするまで既存の町営牧場に預託する。「世の中はアウトソーシングの時代。酪農も、何でもやる時代ではありません。作業を専門化させて効率化を図ることが重要です。お金を生むのは搾乳だけ。僕らの仕事はそれがメイン。搾乳のプロに徹して集中的に取り組み、それ以外の仕事はその道のプロに委託するのです。育成牛も委託すれば、牛舎



JDテレハンドラー JD3200



餌のミキサーを引っぱるJD6300は平成17年に導入

は餌で決まっています」と口を揃える泉谷父子。そのため最も力を入れるのは餌づくりだ。畑に大量に堆肥を投入するが、そこにも泉谷さんなりのテクニクがある。たとえば、熟成した堆肥を作るために、腐熟を促進させる枯草(こそう)菌と消化吸収を助ける酵素を餌に加えて牛に食べさせる。それによって牛糞堆肥の腐熟が早まり、臭いも抑えられるという。確かに泉谷さんの牛舎や堆肥場は臭いがほとんどしない。「臭いがしないのは飼養環境がいいという証。働く環境としてもいいですね。臭

牧され健康管理もしつかりなされるので、僕らが片手間で飼うよりいい牛に育つでしょう。畑の作業をすべてコントラクターに委託しているのと一緒です」と哲人さん。父・孝一さんも「30、40頭を飼うのと同じ体制でやっているのは10倍の牛は飼えません。これなら搾乳が倍、土地が3倍になっても、体力的な負担は変わらないでしょう。もちろん機械も大きくなっていますが、将来、親が歳をとり手伝ってもらえなくなっても、嫁と2人でできるシステムを作っていこうと考えたのでしょう」と哲人さんの合理的な考え方に賛同する。

餌づくりに力を入れ 良質堆肥を生産

「牛の健康も、乳質も、すべては餌で決まっています」と口を揃える泉谷父子。そのため最も力を入れるのは餌づくりだ。畑に大量に堆肥を投入するが、そこにも泉谷さんなりのテクニクがある。たとえば、熟成した堆肥を作るために、腐熟を促進させる枯草(こそう)菌と消化吸収を助ける酵素を餌に加えて牛に食べさせる。それによって牛糞堆肥の腐熟が早まり、臭いも抑えられるという。確かに泉谷さんの牛舎や堆肥場は臭いがほとんどしない。「臭いがしないのは飼養環境がいいという証。働く環境としてもいいですね。臭

「自分で納得できる安全でおいしい牛乳を供給するのが、酪農家の使命」。この信念のもと、泉谷家は4世代10人がひとつ屋根の下で協力しあいながら仕事に励む。酪農を取り巻く情勢は厳しいが、家族の力で新しい時代の酪農経営に挑んでいくことだろう。



きれいに管理されたフリーストール牛舎

この『先進農業事情』は、各地で意欲的に農業に取り組んでおられる人たちを紹介するページです。稲作・畑作そして酪農・畜産の分野で、自分の意志で選んだ農業に誇りを持ち、従来のやり方に独自の工夫を施して営農されている方々です。



Hokkaido

北海道
上川郡
いすみたにてつと
泉谷哲人さん(31歳)
規模…乳牛/搾乳牛250頭、育成牛180頭、畑/110ha(牧草、デントコーン)

31歳の若き経営者・泉谷哲人さん



安全で高品質な生乳づくりに 情熱を燃やす若き後継者 新時代の酪農経営に挑む

後継者育成のため 早期に経営委譲

農業王国十勝平野の中心帯広から西へ30km、日高山脈の美しい山並みを間近にのぞむ清水町は、豊かな畑作地帯であるとともに、110年を超える歴史を持つ酪農の郷だ。特に乳牛は約2万頭が飼育されており、道内有数の酪農地帯となっている。この町で430頭もの牛を飼い、そのうち220頭を常時搾乳して年間約2,400トンの生乳を生産。飼料作物も110haで生産する泉谷さんご一家。経営規模は町内でも5本の指に入り、個人経営ではトップクラス。取り組みも先進的で、地域のリーダー的存在だ。

このメガファームの代表を務めるのは、31歳の泉谷哲人さん。こ



父親の孝一さんはコントラクター組織の役員も務める

うちにやらないとなかなかできません。それに歳をとってからだと、どんどん変わっていく農業情

勢に対応していくのは大変です。失敗してもやり直しのきく若いうちにやりたいことに挑戦し、いろいろな所に顔を出し、勉強してほしいですね。よそでも若いうちに後継した酪農家はみな伸びていますよ。経営に携わらず気楽な立場で給料をもらっている人とは、差が歴然としています」その言葉通り、父・孝一さんも昔は牛の共進会で何度も入賞した優秀なフリーダーだったが、体力面から平成元年、36歳で転身し、酪農経営に切り替えた経歴を持つ。牛100頭、畑32haからスタート。「将来、息子が学校を出て家で就農するまでに経営のめどを立てよう」と夫婦二人で頑張り、規模拡大や設備の拡充(簡易バーラーやフリーストール牛舎など)を図っていた。そして平成16年、哲人さんが実家に

戻ってきたときには、現在のベールとなるしつかりとした経営基盤が出来上がっていた。

労働力の低減めざし 最新のバーラーを建設

26歳で酪農経営を任された哲人さんは、父親ゆずりの先進的な考え方と若者の斬新な発想や行動力で、規模拡大や経営の改善、効率化を図っていた。なかでも最も大きな設備投資は、今年建設した14複列のバーレルバーラー。1度



牛の観察も重要な日課

3歳の京(みやこ)ちゃんを囲んで、哲人さん・宏女(ひろめ)さん夫妻、両親(孝一さん・瓜子さん)、姉(孝子さん)。このほかに2人のお子さん(昇太くん、結ちゃん)と祖父母(好廣さん、幸子さん)も一緒に計10人の大家族



武富さんご夫妻が耐久性の高さを評価する
ヤンマートラクター US545

播種作業は施肥同時
播種機を使い、丈夫な苗
が育つよう薄播きにし鎮
圧する。その後の管理作
業も、ほ場が乾燥してか
ら土入れを2回、鎮圧を
4〜6回、追肥と中耕も
それぞれ2回実施する

**排水対策を万全に
鎮圧や中耕も念入りに**

栽培技術の面でも麦の品質
向上のために次のような努力を
行っている。

まず、最も力を入れているの
は排水対策の徹底だ。

「麦作りは」にも「二にも排水対
策です。もともとこのあたりの
土質は排水性が悪かったためほ
場整備とともに有材暗渠（コル
ゲート管）が埋設されています
が、それに直角に交わるよう麦
の播種前にプラソイラを深さ30
〜40cmまで引いて耕盤破碎を行
い、明渠（畔間）と組み合わせ
てほ場の乾田化に努めています」

土づくりでは、有機物として
稲わらをたつぷりすき込むのは
もちろんのこと、麦は酸性を嫌
うことから石灰類もしつ
かり施用することで地
力を増強。耕起作業も、
土が粘土質で粘りがあ
り乾くと固まりやすいた
め、細かく砕けるよう爪
の本数を多くして砕土
性を高めた特別仕様の
ロータリーを使っている。

**機械化一貫体系で
労働時間も7.6時間**

共進会の審査では武富さんの
効率的な作業体系と労働時間
の削減も高く評価された。年々
規模拡大を重ね、経営面積は
借地も合わせて約12haだが、二
毛作なので実質的に作業するの
はのべ20ha以上。これを奥さま
とこ両親との計4人だけでこな
せるよう、前述の農地の集約化
とともに耕起・播種から収穫、

「どれも特別なことではなく、
昔から言われている麦づくりの
基本です。いかに基本に忠実に
行うか。それによって収量も品
質も大きく違ってきます。種を
播いただけでは収入にはつな
がりません」



などきめ細かい。

「麦ふみ、土入れは麦作りの
基本。しっかりと分げつさせて茎数
を確保するために不可欠な作
業です」

乾燥・調製も、乾燥機を4台
装備し、細心の注意を払いなが
ら丁寧仕上げる。こうした努



表彰状を受けとるご夫妻

調製・乾燥まで機械化一貫体系
を導入し、労働時間の短縮を
図っている。

その結果、10a当たりの労働
時間は乾燥・調製、機械整備点
検を除いて7.6時間を実現した。

「機械力に大いに助けられて
いますよ。長く使え、使用中に
故障しないよう普段からこまめ
な整備を心掛けていますが、ヤ
ンマーのトラクターは耐久性が
ありほとんどトラブルをおこし
ません。万一時はJAやヤンマー
の担当者の方々が飛んで来て修
理してくれるから、安心して営
農できるのです」



JAさが・杵島営農事務所営農課農産野菜指導の
福田昇悟さん（左）、ヤンマー農機販売九州推進部佐賀県
担当・川口博巳さん（右）と

先進農業 ワンポイント

☑「基本を忠実に」を実践。排水対策を徹底し、「適期作業」を何よりも心掛ける。

機械化一貫体系での効率的な作業体系で労働時間を削減。

☑自給率向上政策を追い風に、品質を重視した生産体制で需要を捉える。

パンに向くニシノカオリなどの新品種で国産小麦の需要拡大に挑戦!



生育順調な麦

若い時から研究熱心で、仲間
の農家ともネットワークを作り
先進農業の視察や勉強会に積
極的に参加してノウハウを磨く
武富さん。

「自分のことよりこの地域で
農林水産大臣賞をとったとい
うことが嬉しいですね。常に集
落とともに、というのが私のモツ
トーですから。自給率向上とい
う政府の政策は追い風で、チャ
ンスです。今後も品質を重視し
た生産体制に取り組み、需要者
のニーズをとらえてパンに向くニ
シノカオリなど新品種の栽培を
試してみます。そうやって所得
の向上や国産小麦の需要拡大
をめざしていき
たいですね」

そう語る武
富さんの表情に
は、挑戦はこれ
からだという強
い意志が満ちて
いた。

自宅前で武富さん



佐賀県杵島郡
武富和也さん
たけどみ かずや
経営規模…麦／12ha 米／8.8ha 大豆／4ha タマネギ／0.5ha

万全の排水対策と適期作業で 品質重視の麦作りをめざす

平成20年度農林水産大臣賞を受賞！

**麦作り日本一の
単収は700kg**

平成21年2月、JA中央会など
が主催する「平成20年度全国麦
作共励会」中央委員会の表彰式
が東京で行われた。

これは、高品質な国内産麦の振
興を図るために、栽培技術や経営
改善の面から創意工夫が見られ、
他の模範となるような先進的な
麦作農家や営農組織を表彰しよ
うというもの。このうち「農家の
部」で見事最高位の「農林水産大
臣賞」を受賞したのは、佐賀県江
北町で米・麦・大豆を主にした土地
利用型農業に取り組んでおられ
る武富和也さんだ。

米と大豆の裏作として麦を計
12ha作付している武富さんに、日
本の麦作りのノウハウやこだわ
りのポイントをうかがった。



受賞式にご家族で出席

20年産の麦作で武富さんが審
査委員から高い評価を得たのは、
まず収量・品質の高さ。10a当
たりの単収は、裸麦（イチバン
ボシ）が516kgで、県平均
（429kg）より2割も多い。

また、小麦（シロガネコムギ）
は694kgと、県平均（500
kg）の1.4倍だ。ご自身の過去の実
績と比べても、小麦は昨年や一昨
年の5割アップ。しかも、これほど



麦の出来を確認する武富さん

収量が増えても麦の品質は落ち
ることなく例年通り上位等級比
率100%を実現している。

多収でなおかつ高品質を目指
す武富さんが何よりも心掛けて
いることは、「適期作業」。

「特に麦は天候に大きく左右
される作物ですから、播種から麦
踏み、除草剤散布、追肥、中耕培
土、防除、収穫まで、どの作業も
適期を逃すと発芽や生育が遅れ
たり病害虫などが発生して、収
量も品質も落ちてしまいます。で
すから適期内に作業が終えられ

るよう、12haの作業体系や品種の
組み合わせを工夫しています」。

具体的には、自宅から3km以内
に農地を集め、6つに団地化して
品種ごとにまとめて作付けする。
品種の選定も、以前は大麦（ニシ
ノカラ）だけだったが、特に収
穫・調製作業が適期にできない状
況になったので、18年産からは収
穫時期が早い小麦を導入。

さらに20年産からは播種、収
穫・調製作業に支障が出ていた大
麦の作付けを見直し、作期が分
散でき歩留まりも良い裸麦に切
り替えた。また、栽培管理も丁寧
で、こまめには場を見回って生育
状態を把握し、追肥や赤かび病
防除などのタイミングに気をつけ
ながら管理する。

いよいよ成熟期に入ると巡回し
て子実計測を行い、水分が25%以
下の状態で収穫する。

水田から畑作まで、 オールラウンドに活躍。 高能率・高精度作業で 農業の新境地をひらく!

軽いタッチで自在に変速、楽々操作できる

フィンガーシフト

主変速と速度調整ダイヤルをアームレストに装備。どちらも指先だけで操作できるうえ、腕を掛けた楽な姿勢のまま、軽快に変速操作が行えます。また、ミッションにI-HMT高効率無段変速装置を採用したことで、オペレーションスペースに余裕が生まれ、**快適性と操作性が一段と向上**しました。



新フレーム構造がエンジンからの騒音・振動を吸収

静音キャビン

エンジンとミッションを頑強なフレームにマウントし、さらにキャビンは4点防振ゴムの支持による、完全フローティング構造を採用することで、定置ハイアイドルで“75dB”という**静音性を実現**。オペレータに伝わる騒音や振動を大幅に軽減しました(自社実験データ)。

作業機を上げるとPTOが自動的に停止

昇降連動付きPTOスイッチ

PTOの「入・切」はスイッチでワンタッチ。メインクラッチとの連動・独立・昇降連動の切替えもダイヤルひとつで行えます。昇降連動モードでは、作業機の上昇に連動して、自動的にPTOの回転が停止するので、枕地であぜを削ってしまうこともありません。



■主要諸元						
名称(商品型式名)/区分		EG437J[Q] 標準仕様	EG437J[Q] ハイスピード仕様	EG441J[Q] 標準仕様	EG441J[Q] ハイスピード仕様	EG445J[Q] ハイスピード仕様
機体寸法質量	全長単体(mm)	3325		3355		3355
	全幅(mm)	1490		1490		1540
	全高(mm)	2040[2230]	2360[2230]	2040[2230]	2360[2230]	2380[2250]
	最低地上高(mm)	415		415		440
	機体質量(重量)(kg)	1590[1735]		1590[1735]		1645[1800]
エンジン	種類	水冷4サイクル 4気筒直噴エコディーゼル				
	総排気量(L[cc])	2.189[2189]				
	出力/回転速度(kW/PS/rpm)	27.2[37]/2600		30.2[41]/2700		33.1[45]/2800
走行部	変速方式	I-HMT				
	変速段数(段)	無段	無段(副:2)	無段	無段(副:2)	無段(副:2)
	クラッチ形式	湿式多板油圧式(連動・独立・昇降連動)				
PTO	回転速度(rpm)	544-761-967-1258/逆転678	542-757-962-1252/逆転674	562-785-998-1299/逆転699		
	軸径(mm)	JIS35(6スプライン)				

ヤンマー EG400シリーズは、ここがスゴイ!

操作しやすく、安心して乗れる。 「やさしさ」を追求した“小さな実力派”。 GKシリーズ、デザイン一新で待望のデビュー!

オペレーターにやさしい

新機能と分かりやすい表示で操作しやすいトラクター

色付きレバー、大きく分かりやすい銘板の採用で、**女性や高齢者の方でも、これまで以上に操作しやすくなりました。**

<走行・作業時の変速操作が楽!> ハンドルの近くに主変速レバーがあり、走行・作業時の前後進が、手元で楽に操作できます。
<旋回が楽!> 全油圧パワーステアリング等の機能を標準装備し、作業に不慣れな人でも、楽に旋回することができます。



オペレーターにやさしい

防振構造で人にやさしいトラクター

<振動を低減しました> フロアフレーム防振構造の採用で、振動を大幅に低減することができました。長時間の作業でも疲れが少なくなります。
<燃料補給が楽!> ボンネット横に燃料給油台を設置。重たい燃料タンクを抱えなくても、タンクを台の上に置いて、楽に給油できます(折りたたみ式)。



オペレーターにやさしい

うれしい気配り装備で乗り降りしやすいトラクター

アシストグリップと補助ステップを設けることで、女性や高齢の方にも、**安心して乗り降り**していただけるようになりました。



■主要諸元		GK13	GK14	GK16	GK18
名称(商品型式名)					
区分		V	VU	V	VU
機体寸法質量	全長単体(mm)	2050	2075	2100	2100
	全長ローラー付(mm)	3140	3185	3140	3185
	全幅(mm)	920	980	1040	1040
	全高(mm)	1825	1850	1875	1875
エンジン	最低地上高(mm)	250	270	290	290
	本機単体(kg)	545	560	555	570
走行部	ローラー付(kg)	680	695	695	710
	型名	3TNV70-PUKA	3TNV70-PUKN	3TNV76-PUKA	3TNV76-PUKN
PTO	燃焼方式	渦流室式			
	総排気量(L/cc)	0.853[853]		1.115[1115]	
エンジン	出力/回転速度(kW/PS/rpm)	9.6[13]/2400	10.7[14.5]/2400	12.1[16.5]/2300	13.6[18.5]/2400
	変速方式	常時噛合+選択滑動			
走行部	変速段数(段)	F8-R4			
	PTO段数(段)	正転2段・逆転1段			
PTO	回転速度	正転(rpm)	579-971	579-971	555-931
	逆転(rpm)	757	757	725	757

ヤンマー GKシリーズは、ここがスゴイ!

担い手農家の期待にお応えして EG-PROシリーズデビュー!!

プレミアム(HMT無段変速仕様)&

スタンダード(有段変速仕様)の2仕様を準備。

EcoTra EG-PRO Series

EGプロシリーズは、お客様に求められる3大基本性能を大幅に向上。「高能率」「高精度」「快適な操作性」で、お客様のニーズにお応えします。

進化してEGプロ3つの納得

経済性

基本性能を充実

環境対応

EG48	48PS	EG76	76PS
EG53	53PS	EG83	83PS
EG58	58PS		
EG65	65PS		

EG-PRO

電子制御 直噴エコディーゼルエンジン

エコディーゼルエンジンはコンピュータにより燃料噴射量を制御。作業負荷が変動しても**安定した精度の高い作業**を維持することができます。

また、EGR(排気ガス再循環機構)を装備し、燃料消費が少なく、クリーンな排気ガスで地球環境にも貢献。特殊自動車の第2次排ガス規制をクリアしたトラクターです。

EG-PRO <プレミアム>

電子制御HMT 無段変速 トランスミッション搭載

電子制御HMTによる無段変速の実現で、作業時にも、走行移動時にも、停止状態から最高速度まで変速ショックもなく、スムーズな増減速ができます。また、常に最適作業速度が選択可能なため、**エンジン出力をムダなく使用**でき、さらなる低燃費を実現します。



レバー1本で速度設定の他、様々な操作が行える

多機能主変速レバー(プレミアム仕様のみ)

1本のレバーにさまざまな操作スイッチを搭載。多彩な機能を指先だけで使いこなせます。

見やすく、分かりやすく、多彩な情報を確認

エコビュー(スタンダードEG48,EG53,EG58,EG65を除く)

明るく見やすい液晶パネルに車速・PTO回転数・オドメーター・リップメーター、燃料計・水温計などを表示します。



良好な作業視界を確保

ワイドコックピット

前方視界を損なわない、コーナーポストマフラを採用。足元・両サイド・後方にも開放感あふれるコックピットデザインにより、視界性を確保。旋回・作業状態の確認などが、快適に安全に行えます。



■主要諸元

名称(商品型式名)		スタンダード						プレミアム						
		EG48	EG53	EG58	EG65	EG76	EG83	EG48	EG53	EG58	EG65	EG76	EG83	
						メカシフト仕様								無段変速仕様
機体寸法・質量	全長:単体(mm)	3730				3905		3665				3905		
	全幅(mm)	1630				1750		1655				1750		
	全高(mm)	2565(2485ボックスキャビン)				2595	2620	2485	2485	2485	2565(2485)	2595	2620	
	最低地上高(mm)	400				425	445	385				425	445	
	機体質量(重量)	2115(2270ボックスキャビン)				2825	2840	2365	2365	2365	2235(2365)	2825	2840 2880	
エンジン	燃焼方式	-				水冷4サイクル4気筒直噴エコディーゼル								
	総排気量(L(cc))	-				3.318(3318)								
	出力/回転数(kW(PS)/rpm)	35.3(48)/2400	39.0(53)/2500	42.7(58)/2400	47.6(65)/2500	55.9(76)/2500	61.0(83)/2600	35.3(48)/2400	39.0(53)/2500	42.6(58)/2400	47.8(65)/2500	55.9(76)/2500	61.0(83)/2600	
走行部	変速方式	高速シンクロミッション				シンクロメッシュパワーリバーサ		HMT						
	変速段数(段)	前進20・後進20				前進40段・後進40段		無段(副:2)						
	クラッチ形式	-				湿式多板油圧式								
PTO	1速(rpm)	563	586	563	586	560[560]	583[583]	563	586	563	586	560[560]	583[583]	583
	2速(rpm)	712	742	712	742	820[820]	852[852]	712	742	712	742	820[820]	852[852]	852
	3速(rpm)	1010	1052	1010	1052	1164[-]	1210[-]	1010	1052	1010	1052	1164[-]	1210[-]	1210
	逆転(rpm)	583	608	582	608	[852]	[886]	583	608	583	608	[852]	[886]	-
	軸径(mm)	-				JIS35(6スプライン)								
変速段数(段)	正転3・逆転1				正転3(8仕様 正転2×逆転1)				正転3・逆転1				正転3(8仕様 正転2×逆転1)	

乗用型
トラクター

新商品続々登場!

ヤンマー EGプロシリーズは、ここがスゴイ!

より速く、より美しく。

ヤンマー全自動野菜移植機ACP100シリーズ!!

New 苗を乗せるだけの全自動タイプ!

効率よく植え付け!

植付速度0.52m/秒!
作業時間を短縮

ハイスピード植付け

連続作業で能率アップ!

5枚の予備苗台

精度よくきれいに植え付け!

葉のからみを防止し、確実に苗取り

苗押さえ棒

葉からみによる欠株や浅植を防止するため、苗押さえ棒を搭載。苗の葉先が垂れ下がることがなく、確実な苗取りが行えます。



■主要諸元

名称(商品型式名)	ACP100			
区分	1畦1条植地	26/株間26cm	WB/往復2条	KW/往復2条高うね
全長×全幅×全高(mm)	2125×1005×1180	2125×1320×1180	2125×1335×1340	
機体重量(kg)	190	210	220	
種類	空冷4サイクル横斜型ガソリンエンジン(OHV)			
総排気量(L/cc)	0.099(99)			
出力/回転速度(kW/PS/rpm)	1.7(2.4)/1800			
変速段数(段)	F2-R1			

ヤンマー ACP100シリーズは、
ここがスゴイ!

アップ1

全自動
野菜移植機

New 重労働だった収穫・調製作業がラクになる!

ヤンマーにんにく収穫機HZ1,U登場!!

●仕上りの美しさにこだわって、
数々の機能を採用しました

高精度

●重労働だった収穫・調製作業が
楽に2人ですばやく行えます

高効率

★1台7役=掘取りから運搬までを一工程でこなします。
掘取り 搬送 土落とし 根切り 葉切り コンテナ収納 運搬

●どなたでも扱いやすい、
良好な操作性を実現しました

使いやすい

ヤンマー HZ1,Uは、ここがスゴイ!

にんにく
収穫機

HZ1,U 1条掘り

■主要諸元

名称(商品型式名)	HZ1,U
全長×全幅×全高(mm)	3480×1510×1500
機体重量(重量)	880
種類	水冷4サイクル2気筒直立式ディーゼル
総排気量(L/cc)	0.569
出力/回転速度(kW/PS/rpm)	7.86(10.7)/2600
変速段数(段)	前後進無段×副変速2



光センサで糖度レベルを判定!コンパクトな卓上タイプ!

ヤンマー卓上型さくらんぼ[ハイブリッド]選果機!!

ヤンマー SY1,Tは、ここがスゴイ!

さくらんぼ
選果機

New 果径選別(画像処理技術)+
糖度選別(光センサ技術)ができる!

操作が簡単・使いやすい

品質を安定させる糖度選別+果径選別(4段階)

置き場所を選ばない!

コンパクトな卓上型

脚がないため、置き場所を選ばずに作業が行えます。

設定糖度レベル以上のものを自動選別

光センサ技術により、あらかじめ設定した糖度レベル以上のさくらんぼを良品として選り分けることができます。糖度選別後、4段階に果径選別します。

糖度チェック



■主要諸元

名称(商品型式名)	SY1,T
全長(単位:mm)	1740
全幅(mm)	440
全高(mm)	440
機体重量(kg)	42

New クラス最大の薬液タンク、
高精度の車速連動散布機能を搭載した

GV19IにHST仕様新登場!!

ヤンマー GV19I,Xは、ここがスゴイ!

最適な速度選択が可能! 高精度散布を実現!

HST無段階変速

ブーム水平制御

的確な散布を実現!

新型「スーパーナビユニット」"SNU5"搭載



■主要諸元					
GV19I,X 15mブームHST仕様					
名称(商品型式名)	GV19IS		GV19IH(HST仕様)		GV19IW
区分	X95NU-A	X120KNU-A	X95NU-A	X120KNU-A	X120KNU-A
全長×全幅×全高(mm)	3350×1900×2970(最低高さ調整時:2240)				
機体重量(kg)	1175	1195	1180	1200	1185 1205
種類	3気筒直立直列水冷4サイクルディーゼル				
総排気量(L/cc)	0.854(85.4)				
出力/回転速度(kW/PS/rpm)	13.9(18.9)/3000				
変速段数(段)	前後進無段階(副変速2)				

New 野菜づくりのプロにこだわる性能。

ヤンマー歩行型トラクターMK85F/MK105F!!

ヤンマー MK85F,MK105Fは、ここがスゴイ!

プロのご要望、

多彩な

作業機に対応



■主要諸元

名称(商品型式名)	MK85F		MK105F	
区分	MK85FK	MK85FWK	MK105FLK	MK105FWK
全長×全幅×全高(mm)	1650×630×1170			
機体重量(kg)	100	110	104	110
種類	空冷4サイクルOHVガソリン			
総排気量(L/cc)	0.296(29.6)			
最大出力(kW/PS)	6.3(8.5)		7.8(10.5)	

基本性能の充実と使いやすさを追求し、
新しくなったVPRシリーズ!!

VP50RC・VP60RC 5条・6条植え

(コンパクトシリーズ)

機能をさらに充実!

乗用
田植機

VP50R(X)・VP60R(X) 5条・6条植え

“やさしさ”と“使いやすさ”がさらに進化し、

充実した機能で、
高能率と高精度を実現。



New パダリスト

VP80R・VP80RD 8条植え

プロのニーズを徹底追求。

微妙な速度調節も思いのまま ペダル変速+HMT

〈ペダル変速〉低速から最高速まで、オートマチック車のようにペダルの踏み加減だけで速度調節ができます。

〈HMTミッション〉HSTとギヤミッションの長所を両立した変速機構です。動力伝達効率も良く、ショックの少ないゼロ発進が可能です。

New

マーカ操作が楽になり、能率アップ 電動マーカ (Cタイプは除く)

ワイヤーで行っていたマーカ操作を、電動式に変更。植付け作業をしながら(植付部を下けたまま)、マーカの上下操作ができるようになりました。あぜ際で、マーカを収納したいときでも作業を中断しなくてよいので、能率のよい作業ができます。



思いのままの簡単操作、快適作業

速度固定レバー・ノーブレーキターン

〈速度固定レバー〉ペダルで任意の速度にして、レバーを操作すると、ペダルを離しても最速速度に固定できます。〈ノーブレーキターン〉ハンドルをいっぱい切ると、自動的に内側後輪の駆動を停止し、ペダル変速と相まって簡単にスムーズに旋回や条合わせができます。(片ブレーキは不要で、枕地も荒らしにくくなります。)



枕地の整地作業を省力化できる

すこやかロータ

旋回後の枕地をきれいにしながら、今まで手作業で行っていた重労働を省力化できます。これにより植付精度が向上し、転び苗や浮き苗を防止します。



プロも納得の植付精度を実現

植付ジャストフィット機能(VP80RDのみ)

凸凹の多い枕地や水の深いほ場など、ほ場条件に合わせてダイヤルを切替え、ワンタッチで適切な植付深さと感度に簡単に合わせることができます。能率と精度を重視されるプロ農家の方にもナットクの機能です。さらに、細やかな微調整は、手元の感度調整ダイヤルと植付深さダイヤルで行えます。



①植付深さ調節ダイヤル ②油圧感度調節ダイヤル ③植付状態選択スイッチ ④ワンショット昇降ボタン

■主要諸元

名称(商品型式名)		VP50RC		VP60RC		VP50R	VP50RX	VP60R	VP60RX	VP80R	VP80RD											
		区分		P	PU	P	PU	PU-Z			PU-Z											
全長×全幅(格納時)×全高 (mm)	2920×1910 ×1530		2935×1910 ×1530		2920×1985 ×1530		2935×1985 ×1530		3235×1910×1530			3235×1985×1530		3255×2210×1890		3450×2210×1910						
	機体重量(kg)		515		534		580		617		607		648		765		870					
エンジン	種 類		空冷4サイクルOHVガソリン										空冷4サイクル2気筒OHVガソリン		空冷4サイクル2気筒OHVガソリン		空冷4サイクル3気筒縦型ディーゼル					
	総排気量(L[cc])		0.337[33.7]										0.391[39.1]		0.614[61.4]		0.391[39.1]		0.614[61.4]		0.854[85.4]	
	出力/回転速度(kW/PS/rpm)		6.5(8.9)/1800(最大8.8(12))										7.7(10.5)/3600(最大10.3(14.0))		9.2(12.5)/2700(最大15.0(20.0))		7.7(10.5)/3600(最大10.3(14.0))		9.2(12.5)/2700(最大15.0(20.0))		14.7(20)/3200	
備 考	前進2・後進1 (HMT無段階変速)																					

「40周年感謝号」限定!

ヤンマーコンバイン

よりラクな作業のためのスペシャル装備をプラス。

特別装備 オーガ先端で排出作業ができ、1人作業もラク。

リモコンオーガ 排出位置の設定や、排出のON/OFFがオーガ先端で操作できます。

特別装備 長いオーガで排出範囲もワイド。

中折れ手動オーガ 土手や水路があってもスムーズに排出できます。折りたたみ式のため、格納時はコンパクトにできます。

特別装備 ワンクラス上の充実装備。

デラックスシート クッション性にすぐれ、長時間作業がグンと楽になります。

特別装備 日よけパラソルの取付けが簡単。

パラソルスタンド パラソルの柄を差し込むだけ。カンタンに取付けられます。

おかげさまで40周年

Ee211G 10.5PS-2条刈り
Ee214G 14.0PS-2条刈り



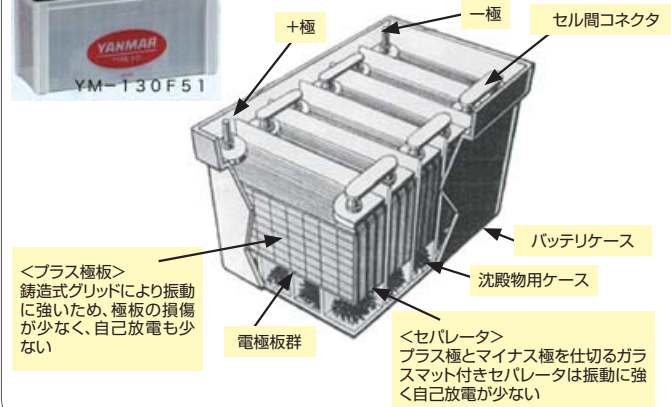
農業機械専用バッテリーを 3分でわかる ご存じですか？

「ヤンマー純正バッテリー」の 優 れ も の 農業機械専用高性能バッテリー

01

農業機械の固有振動に配慮した専用設計

ガラスマット付きセパレータとプラス極板を鋳造式グリッドにすることで振動に強くなっています。



02

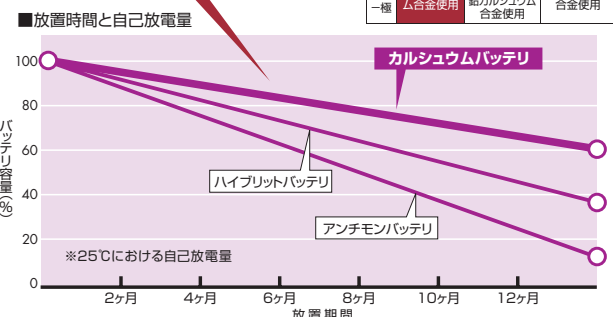
農閑期の自己放電に配慮した設計

自己放電や液減りをおさえたカルシウムバッテリーを採用

農業機械専用バッテリーは自己放電が最も少ない

■1日当りの自己放電量	容量の0.1～0.2%
カルシウムバッテリー	容量の0.1～0.2%
ハイブリットバッテリー	容量の0.5～0.6%
アンチモンバッテリー	容量の0.8～1.0%

※自己放電とは放置しておくと次第に放電したバッテリー容量が低下すること



03

水分や土ホコリの多い 作業に配慮した液栓形状

防塵フィルターを内蔵した安全液栓「突出形状」を採用することにより、土や泥による目詰まりがしにくく、安定した充電・放電機能が保持できますのでバッテリー寿命も長くなります。



Let's check it by myself.

エアークリーナ& オイルエレメント交換のおすすめ

出力アップ!

燃費アップ!

燃費の悪化を防いで、快適・省エネ作業。

知って得する豆知識

エアー クリーナ編

エアークリーナエレメントの働き

エンジンは空気を勢よく吸い込んで燃料と混合し、それを爆発させて動力を生み出します。エアークリーナエレメントは吸い込む空気といっしょにエンジン内に入ろうとする「チリ・ホコリ」を取り除き、エンジン内をいつも調子よくする働きをしています。



キレイな空気で燃焼する場合



01

こんなときは交換

エアークリーナエレメントが「チリ・ホコリ」で目詰まりするとエンジンに入る空気が少なくなり燃料との混合バランスが崩れて、馬力が出なくなったり、燃費が悪くなります。

- 新車から300時間使用毎に交換します。
- 使用時間がやや少ない場合でもエレメントの状態によっては4～5年で交換することをおすすめします。

02

そうしないと!

目詰まりすると、たとえ掃除をしても空気通路は狭いまです。すると、エンジンが空気を吸い込む勢いに負けてエレメントに付着しているホコリは吸い込まれてしまい、エンジンの寿命を短くすることになります。



空気が不足して燃焼すると...



もっと怖いことが!

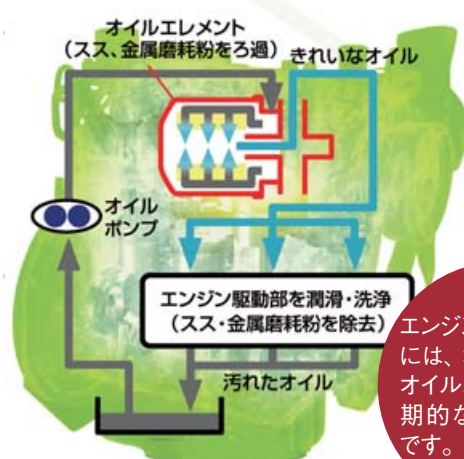


知って得する豆知識

オイル エレメント編

オイルエレメントの働き

エンジンの使用時間が増えるに従い、内部では「スス・金属摩耗粉」が発生します。この汚れをエンジンオイルが洗い流し、汚れたオイルをろ過して再びキレイにするのがオイルエレメントの役割です。



エンジンの健康管理には、オイルとともにオイルエレメントの定期的な交換が必須です。

01

こんなときは交換

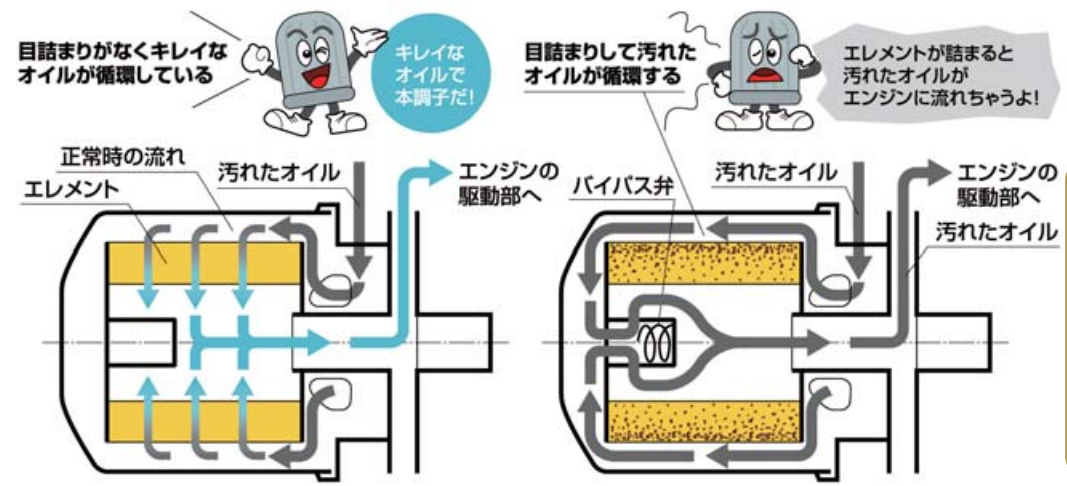
エレメントはオイルの中の汚れをろ過するため、次第に目詰まりしてきます。目詰まりがひどくなると、オイルはエレメントを通らずにエンジン各部に循環します。汚れたオイルはエンジン寿命を縮めると共に、馬力の低下や燃費の悪化を招きます。

02

ミッションオイルにもオイルエレメントがあることをご存知ですか？

ミッションオイルは、歯車、油圧精密部品の摩耗を防ぐと共に金属摩耗粉を洗い流します。この、不純物の混じったオイルをエレメントでろ過し、ミッション各部へ循環させます。エンジンオイルエレメントと同じ構造をしていますので、定期的な交換が必要です。

ミッションオイルエレメントの交換基準
第1回目 オイルエレメントは新車から50時間使用でミッションオイルと同時に交換します。
第2回目以降 オイルエレメントは300時間毎にミッションオイルと同時に交換します。



オイルエレメントの交換基準
第1回目 オイルエレメントは新車から50時間使用でエンジンオイルと同時に交換します。50時間に満たない場合でも、1年以内に交換してください。
第2回目以降 オイルエレメントはオイル交換2回に1回交換します。



Healthy
Cooking

身近な素材で手軽にクッキング！
お米から生まれた白玉粉で
夏の涼味 ― 白玉粉の巻 ―

冷やして食べる

わらび餅



《材 料／4人分》

〈生地〉わらび粉…100g 白玉粉…45g 水…500cc 砂糖…100g
きな粉…80g 砂糖…100g

《用意する物》

ボール、鍋、木じゃくし、バット、ヘラ

《下準備》

きな粉と砂糖を混ぜ合わせふるっておく。

《作り方》

①ボールにわらび粉と白玉粉を入れ混ぜ合わせ、水を徐々に加えてよく溶かし、裏ごしをする。②①を鍋に移し砂糖を加え、中火にかけ、木じゃくしでよく練りながら煮る。③火が通って半透明になってきたら手早く混ぜ、全体がひとかたまりになって弾力がつきだしたら火を止める。④バットにきな粉を広げ、③を熱いうちに流し入れ、表面をヘラで平らにならし、粗熱をとる。⑤④を冷蔵庫で冷やし固め、表面を指で押さえて付かなくなれば、好みの形に切り、きな粉をまぶし、器に盛る。

《調理のポイント》

練りすぎに注意しましょう。弾力がなくなってしまいます。
よく冷やしていただきたいわらび餅、器も冷やせばよりおいしく、涼やかです。

料理レシピ提供／
全国穀類工業協同組合

冷やして食べるとひときわ美味しく、半透明でぶるぶるの食感がうれしいわらび餅。古くは室町時代、一部の貴族でしか口することが出来なかったわらび餅は、本来ワラビから取れるデンプンを原料としたわらび粉と水、砂糖を加熱しながら混ぜて作られる。

現在では、わらび粉の生産量が極端に少ないため、サツマイモなどから取れたデンプンや葛粉を材料に作られているものが家庭用では主流。もち米を加工した米粉の一種、きめ細かく滑らかな白玉粉と混ぜてこねれば、本来お米が持っている美味しさが引ききた。

わらび粉と白玉粉に水を加えながらよく溶かし、砂糖を加えて中火でよく練り

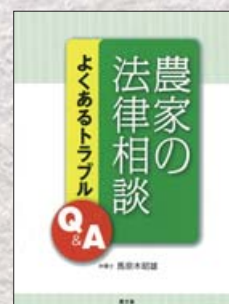


― 口の中から涼が広がる
季節の楽しみだ。

ながら煮ていく。練りすぎに注意し、弾力をなくさないことがコツ。半透明になってくれば手早く混ぜ、弾力がつきだしたら火を止める。きな粉を広げたバットの上に流し入れ、冷蔵庫でよく冷やして固める。表面を指で押さえて付かなくなれば出来上がり。

旬の農業書 VOL.14

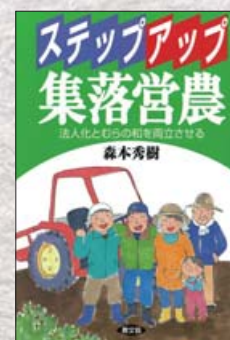
充実した営農へのヒントがいっぱい。
いま旬の農業書をお届けします。



『農家の法律相談』

よくあるトラブルQ&A

馬奈木昭雄 著
定価：3,780 円（本体 3,600 円、税 180 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）
土地の賃貸借や登記のいざこざ、隣近所や組合とのトラブル、作物や資材をめぐる問題、契約事や相続の紛争…。わかりにくい法律問題をていねいに解説。場面別で調べやすい、農家、農村のトラブル解決の道しるべ。



ステップアップ 集落営農

法人化とむらの和を両立させる

森本秀樹 著
定価：1,680 円（本体 1,600 円、税 80 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）
収益性、むらの和、継続性を高める集落営農の向上術を実例に学ぶ。運営が行き詰まったときや発展の展望が見えないときの強い味方。



サトちゃんの イネづくり作業名人になる

ラクに 楽しく 倒さない

佐藤次幸 著
定価：1,680 円（本体 1,600 円、税 80 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）
「ケチケチ精神」で「常識」をひっくり返す！身体をラクに、作業を楽しく！サトちゃんの合理的な手の抜き方と安定収量実現の作業のコツを一挙公開！



土壌診断 生育診断大事典

簡易診断からリアルタイム診断、
生理障害、品質の診断

農文協 編
定価：20,000 円（本体 19,048 円、税 952 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）
精密診断で家畜糞尿を活かし、肥料代を減らす。自分でできるリアルタイムな診断でムダなく肥料を効かせる。品質診断で生産物の健康・流通価値をアピール。複雑化する生理障害を正確に診断、的確な対策が立てられる。



別冊現代農業 農家が教える イネづくりコツのコツ

農文協 編
定価：1,200 円（本体 1,143 円、税 57 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）
1年間のイネ作業の春夏秋冬を追いながら、実際の作業と基本的なイネの生理および見方を、『現代農業』の記事を中心に選び抜いて構成。この1冊でイネづくりの全体がわかる。



熱帯果樹の栽培

完熟果をつくる・楽しむ 28 種

米本仁日 著
定価：3,360 円（本体 3,200 円、税 160 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）
とろける甘さ、忘れられない香り、機能的成分豊富で身体にやさしい 28 種の栽培と加工・利用、食べ方のポイントを詳解。豊富なカラーページでわかりやすい。

お問合せ・ご注文は農文協
「田舎の本屋さん」まで

右記のいずれかの方法でご注文ください。

● 郵 便：〒107-8668 東京都港区
赤坂郵便局私書箱第15号
農文協「田舎の本屋さん」宛
● 電 話：03-3585-1141（9時～17時）
● インターネット：「田舎の本屋さん」<http://shop.ruralnet.or.jp/>

荷造送料：何冊でも1回400円。
お支払い：同封します郵便振替用紙でのお支払い。
お届け：1週間程度でお届けします。
地域によって、もう少しお時間をいただく場合もございます。

ご注文専用フリーダイヤル
を設置しました！

ご注文専用フリーダイヤル：0120-582-346
【平日9:00～18:00】

注文専用フリー FAX：0120-133-730
【24 時間受付】

※表示価格は税込みです。

教えてください。
あなたのお家のステキな女性のこと。

アンケートをお送り
いただいた方の中から
30名様に図書カード
(1,000円分)を
プレゼント!
(掲載させていただいた方には
もちろんお送り致します)
ご応募締切:平成21年11月30日
弊社到着分までと
させていただきます。

わが家の ステキな女性へ!

Wonderful Women

宮城県 私 孝さんから
おくさん栄子さんへ

私の妻は、仕事は三人前働きます。
とても“美人”です。
これも岩出山の“さきにしき”、“ひとめぼれ”
を食べているからでしょうか?
それとも きれいな奥羽山脈のおいしい
水をのんでいるからかな...?
是非 会いに来てください♡

応募はカンタン!こちらの綴じ込みハガキでどうぞ!
写真がある場合や書ききれない場合は恐れ入りますが封書でご送付ください。

写真はイメージです。投稿者とは関係ございません。

どんな美人の奥様なのでしょう。編集スタッフも興味津々です!

今回のワンダーフィールドも、『農業で働くステキな女性 Wonderful Women』へ

ご家族の皆さまからのメッセージを大募集します。日ごろは照れくさくて、

なかなか面と向かって口に出しては言えない言葉や、思い、エピソードをハガキに書いて贈ってみませんか?

妻へ、母へ、娘へ、嫁へ...

ワンダーフィールドがあなたに代わってお届けいたします。

(次号に掲載させていただきます。多数ご応募の場合は選考させていただきますのでご了承ください。)

応募要項

作品テーマ ● わが家のステキな女性Wonderful Women へ

作品文字数 ● 何文字でも結構です。応募ハガキにおさまらない場合は封書にてお送りください。

また、写真等をお送りいただける場合も恐れ入りますが封書にてご送付ください。

送り先 ● 〒530-8321 大阪市北区茶屋町1-32

ヤンマー農機販売株式会社「わが家のステキな女性へ」係

※応募作品のご返却はいたしません。

締切 ● 2009年11月30日弊社到着分

発表 ● 次号Vol.15に掲載いたします。多数ご応募の場合は選考させていただきますのでご了承ください。

*ヤンマーグループでは個人情報の保護についての法令を遵守し、お客様の個人情報の適切な運用・管理を行います。ご記入いただいたお客様の個人情報は、新製品やイベント等のご案内及びアフターサービスの充実などに利用させていただくこと以外、使用することはありません。

ホームページのご案内



楽しいブログも満載の ヤンマーホームページを お楽しみください。

「ヤンマー TV」ボタンをクリックいただくとニューファーム SAYURI や
オリーブ農園の楽しいブログコーナーをご覧ください。



農業の未来に対する皆さんの熱い思いをお寄せください。

第20回 ヤンマー学生懸賞論文・作文募集

応募受付中。

応募期間 / 平成21年
6/1 (月) ~ 10/31 (土)

テーマ “農が変わる 農が応える 今 未来への布石を”
～生命を育む「食」、食を生み出す「農」、環境を守る「農山漁村」～

私もヤンマーグループは、日本の農業が転機を迎えていた1990年(平成2年)、厳しい中にも
21世紀への夢と希望を持ち、先駆的な挑戦を試みる元気な農家や集団が全国に誕生しつつあるこ
とに気づき「いま日本の農業がおいしい～その変化と対応～」をスローガンとして、積極的に未来
を語りエールを送ってきました。

その一方で、次代を担う若者たちに日本の農業の未来についておおいに議論していただこうと始
めたのが「ヤンマー学生懸賞論文・作文募集」でした。その後、私どもを取り巻く環境も大きく変わり、
議論のテーマも「食料自給、農業の再生、都市と農村の暮らし」等へと変わってきました。

現在、日本国内のみならず世界レベルで、食料、資源エネルギー、環境、地球温暖化等の問題
がクローズアップされています。私どもは、この現状を自らの問題と受け止め、テーマを新たに“農が
変わる 農が応える 今 未来への布石を”～生命を育む「食」、食を生み出す「農」、環境を
守る「農山漁村」～とし、各方面からの更に一層の議論の輪を広げていきたいと思っています。夢と若
さあふれる提言を数多く寄せいただきたいと思います。

詳しくは Web サイトへ! ヤンマー学生懸賞論文

検索

■第20回表彰・賞金

【論文の部】	大	賞	1編	賞金	100万円(賞状、記念品)
	優	賞	2編	賞金	30万円(賞状、記念品)
	秀	作	10編	賞金	10万円(賞状、記念品)
【作文の部】	金	賞	1編	賞金	30万円(賞状、記念品)
	銀	賞	2編	賞金	10万円(賞状、記念品)
	銅	賞	5編	賞金	7万円(賞状、記念品)

なお、各部門とも応募規定・提出方法に合致した方には記念品を贈呈
いたします。

■応募資格

【論文の部】大学、大学院、短期大学、農業大学校、農業短期大学、各種専門学校に
在籍する30才以下(平成21年10月31日現在)の学生。

ただし、外国からの留学生は35才以下。

【作文の部】農業大学校、農業短期大学に在籍する25才以下
(平成21年10月31日現在)の学生。外国への留学生、外国からの留学生の応募も可。

■応募パンフレット請求と応募先

〒530-8321 大阪市北区茶屋町1-32
ヤンマー株式会社 ヤンマー学院内「学生懸賞論文・作文募集係」宛
フリーダイヤル 0120-376-530
【E-mail】ronbun@yanmar.co.jp 【HP】http://www.yanmar.co.jp

第16回～19回
入賞作品集を
掲載しております。

岡山・矢掛町に、実演ほ場を併設した 新ショップがオープン!

New Shop Open!

ヤンマー農機販売(株)中四国カンパニーは、このほど岡山県西部の矢掛町
に、実演ほ場を備えた新店舗「矢掛支店」を新築した。従来の約3.5倍の敷地
に、明るく広いショールーム、大型農機も修理・点検できる整備工場や野菜栽培
用の資材販売コーナーを備え、13名のスタッフでお客様をお迎えする。場所は国
道486号に面し、近くにホームセンターや道の駅(8月開店)が
並ぶ便利なところ。隣に整備した実演ほ場では実際に商品を
動かしながら紹介し、特長や操作方法などをわかりやすく説
明。試乗もでき、性能や使い勝手の良さを納得するまで体感し
ていただける。

「一带は水稻の他に野菜や果樹が栽培され、担い手農家
や営農組合も頑張っておられます。お客様の要望に応じ、きめ
細かく充実した営業・サービスに努めていきます」
と、岸野敏夫支店長は意欲満々だ。

是非お越しください!



OKAYAMA



1月に
オープンした
矢掛支店

実演ほ場では
大型機械の
研修会も実施